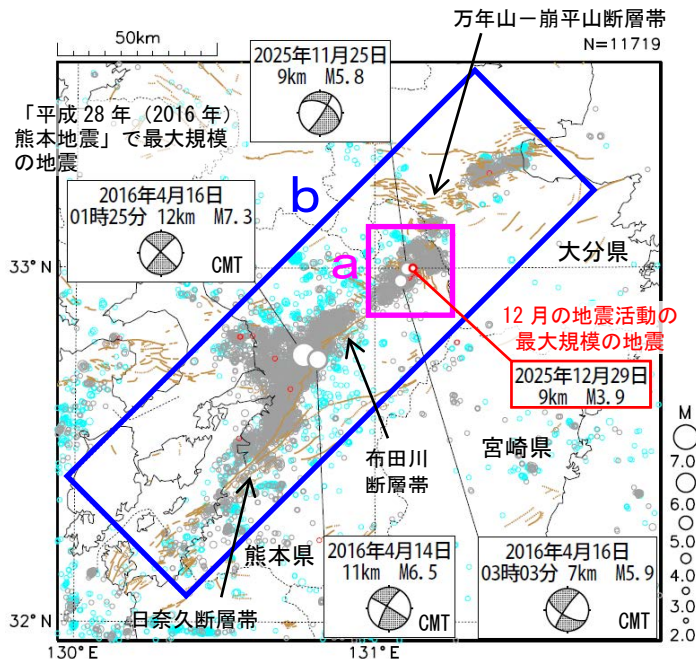


11月25日からの熊本県阿蘇地方の地震活動

震央分布図

(2000年10月1日～2025年12月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)

2016年4月14日21時より前に発生した地震を薄青色○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を灰色○、
2025年12月1日以降に発生した地震を赤色○で表示



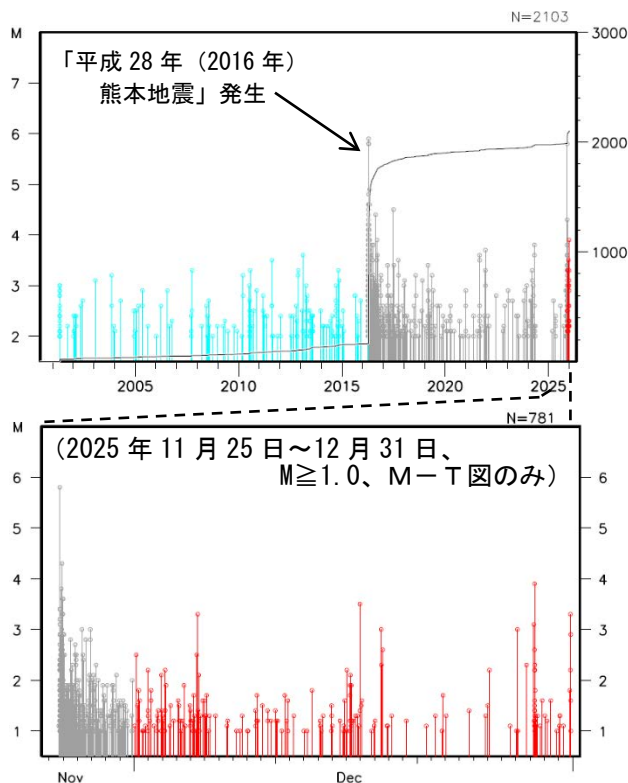
図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

熊本県阿蘇地方では、2025年12月に震度1以上を観測した地震が14回（震度3：2回、震度2：5回、震度1：7回）発生した。このうち最大規模の地震は、29日07時35分に発生したM3.9の地震（深さ9km、最大震度3）である。これらの地震は地殻内で発生した。今回の地震活動域付近（領域a）では、2025年11月25日18時01分にM5.8の地震（深さ9km、最大震度5強）が発生し、熊本県で負傷者1人の被害が生じた（被害は2025年12月3日14時00分現在、総務省消防庁による）。この領域ではM5.8の地震の発生後、12月31日までに震度1以上を観測した地震が61回（震度5強：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：19回、震度1：36回）発生した。

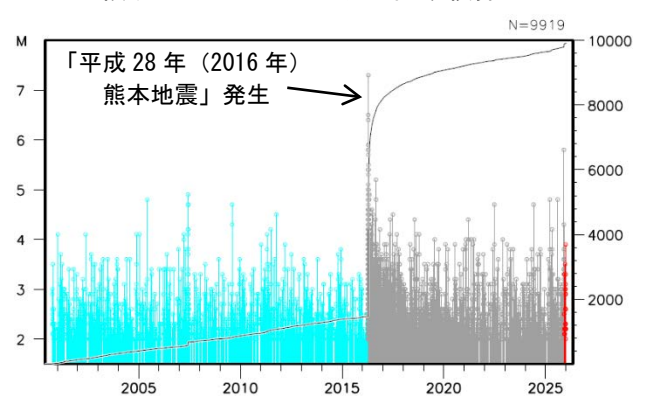
2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、2016年4月16日03時03分にM5.9の地震（深さ7km、最大震度5強）が発生している。

なお、領域bでは「平成28年（2016年）熊本地震」が発生し、熊本県で死者275人、大分県で死者3人などの被害が生じた（熊本県の被害は2025年4月11日現在、熊本県による、その他は2019年4月12日現在、総務省消防庁による）。

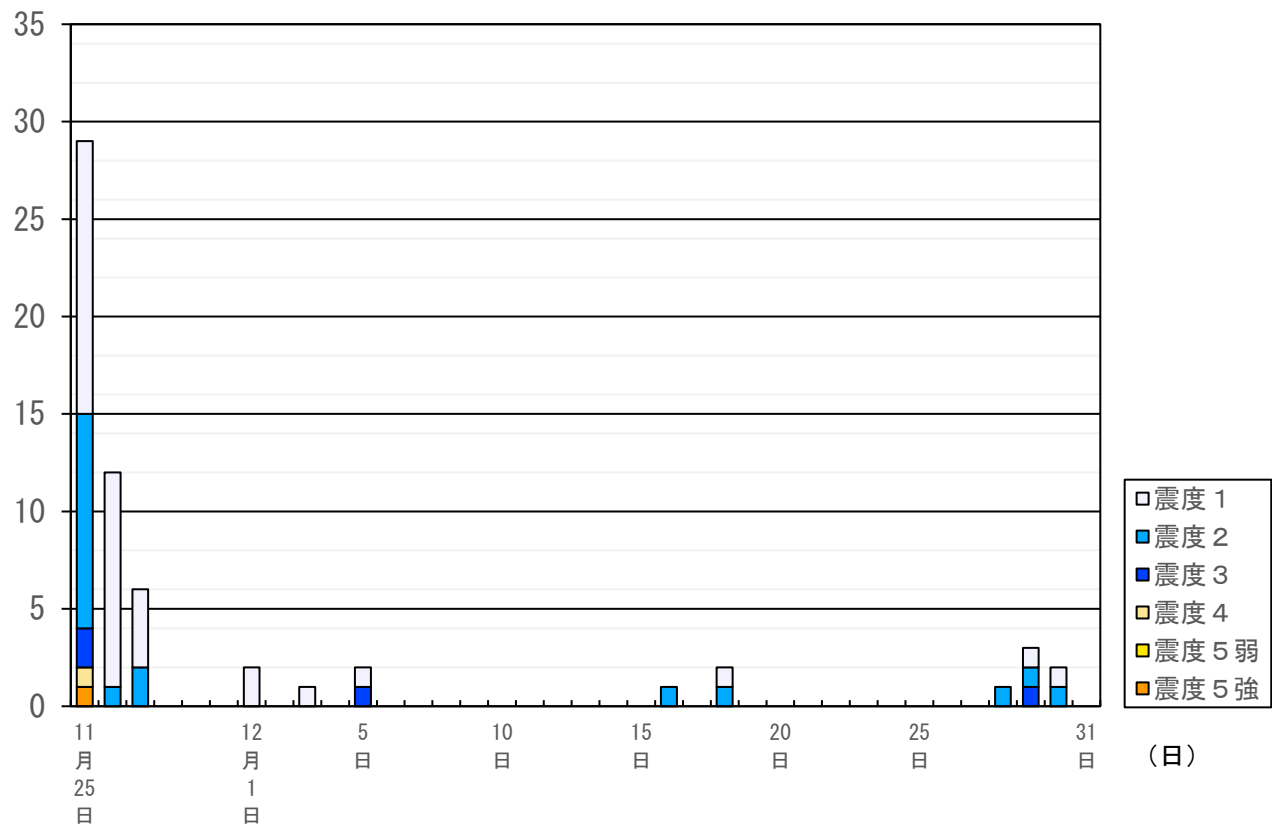
領域a内のM-T図及び回数積算図



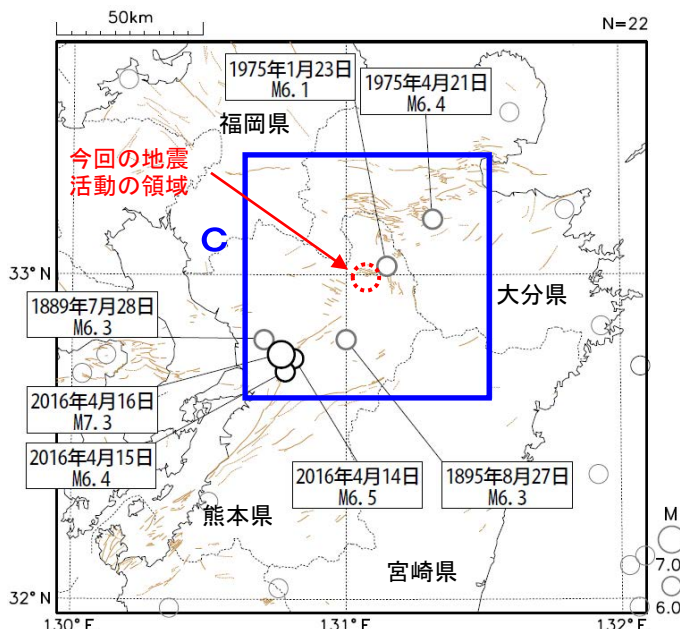
領域b内のM-T図及び回数積算図



最大震度別地震回数（日別）
（2025年11月25日18時～12月31日24時、震度1以上の地震）



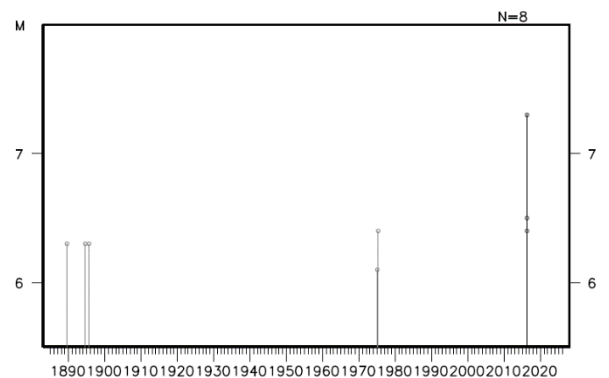
震央分布図
（1885年1月1日～2025年12月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 6.0$ ）
2016年4月14日21時より前に発生した地震を灰色○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を黒色○で表示



図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す
（震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津
（2001）、宇津（1982, 1985）による※）

1885年以降の活動をみると、今回の地震活動の震央周辺（領域c）では、 $M6.0$ 以上の地震が8回発生している。このうち、1889年7月28日には $M6.3$ の地震が発生し、熊本県で死者19人、家屋全倒234棟などの被害が生じた。また、1975年4月21日には $M6.4$ の地震が発生し、大分県で負傷者22人、家屋全壊58棟などの被害が生じた（被害はいずれも「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図



※宇津徳治（1982）：日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年，震研彙報，56，401-463。
宇津徳治（1985）：日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加），震研彙報，60，639-642。